

作業環境測定結果報告書（証明書）

殿

貴事業場より委託を受けた作業環境測定の結果は、下記及び別紙作業環境測定結果記録表に記載したとおりであることを証明します。

測定を実施した作業環境測定機関

① 名称		② 代表者職氏名	(印)
		②-(2) 作業環境測定結果の管理を担当する者の氏名	(印)
③ 所在地 (TEL、FAX)			
④ 登録番号		⑤ 作業環境測定に関する精度管理事業への参加の有無	無 有 (年度 参加 No.)
⑥ 連絡担当作業環境測定士氏名		⑦ 登録に係る指定作業場の種類	第 1 2 3 4 5

測定を委託した事業場等

⑧ 名称	
⑨ 所在地 (TEL、FAX)	

記

1. 測定を実施した単位作業場所の名称 :
2. 測定した物質の名称及び管理濃度 :
3. 測定年月日 (1日目) 年 月 日 (2日目) 年 月 日
4. 測定結果

測定日	1日目	2日目	1日目と2日目の総合	区分
A測定結果〔幾何平均値〕	$M_1 = ()$	$M_2 = ()$	$M = ()$	I II III
B測定値	$()$			I II III

()内には単位 [ppm・mg/m³・f/cm³・無次元] を記入

管理区分 (作業環境管理の状態)	第1管理区分 (適切)	第2管理区分 (なお改善の余地)	第3管理区分 (適切でない)
---------------------	----------------	---------------------	-------------------

【事業場記入欄】 (以下については事業場の責任において記入すること)

作成者職氏名	作成年月日	年 月 日
--------	-------	-------

(1) 当該単位作業場所における管理区分等の推移 (過去4回)

測定年月日	年 月	年 月	年 月	年 月(前回)
A測定結果	I II III	I II III	I II III	I II III
B測定結果	I II III	I II III	I II III	I II III
管理区分	第1 第2 第3	第1 第2 第3	第1 第2 第3	第1 第2 第3

(2) 衛生委員会、安全衛生委員会又はこれに準ずる組織の意見

(3) 産業医又は労働衛生コンサルタントの意見

(4) 作業環境改善措置の内容

㉖ 併行測定を行う測定点を決定した理由

㉗ B測定 of 測定点と測定時刻を決定した理由

(1) 発生源に近接する場所における作業

(2) 濃度が最も高くなると思われる作業位置

(3) 濃度が最も高くなると思われる時間

㉘ A測定点の数を5点未満に決定した理由

(1) 単位作業場所の広さ

(2) 過去における測定の記録

㉘-(2) A測定点の間隔を6m超に決定した理由

(1) 過去における測定の記録

㉙ 測定に係る監督署長許可の有無

有 (許可年月日 年 月 日 許可番号) 無

5 全体図、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点の配置等を示す図面
(5ミリ方眼)

事業場名		作業場名	
<p>〔記号〕 ①、②、③……：A測定点 ㉞：B測定点 ●：併行測定点 ☒：発生源</p> <p> ：囲い式フード ：外付け式フード ：気流方向 ：気流滞留状態 </p> <p> ：上昇気流 ：下降気流 ：気流拡散状態 ：気象測定地点 </p> <p> ：作業位置 ：作業移動位置 ：単位作業場所の範囲 </p> <p> ：換気扇 ：扇風機 ：プッシュプル </p> <p>※単位作業場所の縦・横の寸法は必ず記入すること。その他必要な事項については記載要領を参照。</p>			

6 測定データの記録(1日目、 2日目)

[A測定データ]

[単位 : ppm・mg/m³・f/cm³]

⑩測定対象物質の名称	$E_{①} =$		$E_{②} =$		$E_{③} =$		$E_{④} =$		$E_{⑤} =$		$E = 1$
⑪管理濃度等	$^{⑮}C_{①}$	$^{⑯}\frac{C_{①}}{E_{①}}$	$^{⑮}C_{②}$	$^{⑯}\frac{C_{②}}{E_{②}}$	$^{⑮}C_{③}$	$^{⑯}\frac{C_{③}}{E_{③}}$	$^{⑮}C_{④}$	$^{⑯}\frac{C_{④}}{E_{④}}$	$^{⑮}C_{⑤}$	$^{⑯}\frac{C_{⑤}}{E_{⑤}}$	$^{⑰}\sum_{i=1}^n \frac{C_i}{E_i}$
⑭ No.											
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											

[B測定データ]

⑳	C_{B1}										
	C_{B2}										
	C_{B3}										

7 サンプルング実施時の状況

㉑ サンプルング実施時に当該単位作業場所以で行われていた作業、設備の稼働状況等及び測定値に影響を及ぼしたと考えられる事項の概要
 [作業工程と発生源及び作業人数]

[設備、排気装置の稼働状況]

[ドア、窓の開閉、気流の状況]

[当該単位作業場所の周辺からの影響]

[各測定点に関する特記事項]

天候		温度	℃	湿度	%	気流	～	m/s
----	--	----	---	----	---	----	---	-----

8 試料採取方法等

① 試料採取方法	直接・液体・固体・ろ過・検知管（ ）用）・その他（ ）		
② 捕集剤、捕集器具及び型式		③ 吸引流量	L/min
④ 捕集時間	分間（ 分間隔）	⑦ 捕集量	L

9 分析方法等

⑧ 分析方法	吸光光度・蛍光光度・原子吸光・ガスクロマトグラフ・重量分析・計数・高速液体クロマトグラフ・検知管・その他（ ）
⑨ 使用機器名及び型式	
⑨-② 分析日	年 月 日～ 年 月 日（ 日間）

10 測定値（換算値）変換係数の決定（監督署長許可の場合のみ記入）

1 日目	① 検知管指示値	ppm	③ 捕集時間	分間
	② 測定値（換算値）		④ 測定値（換算値）変換係数	
2 日目	⑤ 検知管指示値	ppm	⑦ 捕集時間	分間
	⑥ 測定値（換算値）		⑧ 測定値（換算値）変換係数	

11 測定結果

[単位：ppm・mg/m³・f / cm³・無次元]

	区分	1 日目	2 日目	M及びσ
A測定	① 幾何平均値	M ₁ =	M ₂ =	M=
	② 幾何標準偏差	σ ₁ =	σ ₂ =	σ=
	③ 第1評価値	E _{A1} =		
	④ 第2評価値	E _{A2} =		
B測定	⑤	C _B =		

12 評価

⑨ 評価日	年 月 日			
⑩ 評価箇所	②の単位作業場所と同じ			
評価結果	⑪ 管理濃度	E = [ppm・mg/m ³ ・f / cm ³ ・無次元]		
	⑫ A測定の結果	E _{A1} < E	E _{A1} ≥ E ≥ E _{A2}	E _{A2} > E
	⑬ B測定の結果	C _B < E	E × 1.5 ≥ C _B ≥ E	C _B > E × 1.5
	⑭ 管理区分	第1	第2	第3
⑮ 評価を実施した者の氏名				